

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東  
 コード番号 4838 URL <http://www.spaceshower.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 英明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 案納 俊昭 TEL 03-3585-3242  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,937	1.3	182	24.0	183	22.8	102	34.1
26年3月期第2四半期	5,860	△1.6	146	△27.5	149	△30.6	76	△28.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 102百万円 (34.1%) 26年3月期第2四半期 76百万円 (△28.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	9.60	—
26年3月期第2四半期	7.16	—

(参考) 持分法投資損益 27年3月期第2四半期 △0百万円 26年3月期第2四半期 △0百万円

(注) 平成25年10月1日付をもって1株を100株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、これに伴い、1株当たり四半期純利益を算出しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,685	3,718	55.6
26年3月期	6,448	3,735	57.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,718百万円 26年3月期 3,735百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	11.25	11.25
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,909	2.3	299	41.5	301	32.5	161	87.8	15.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	10,690,800株	26年3月期	10,690,800株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	ー株	26年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	10,690,800株	26年3月期2Q	10,690,800株

（注）平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を実施しております。上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀による金融緩和を背景とした円安や株高傾向が継続し、企業業績や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動及び実質可処分所得の減少などによる消費低迷懸念が存在し、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

こうした中、当社グループでは、事業グループの再設計と成長発展期待分野への積極的取り組みの促進、顧客や関連業界に対する存在感と期待感の拡大による優位なポジションの獲得、不採算事業の見直し再編による業績伸長と持続発展可能な基礎収益力構造の創出を当連結会計年度の経営方針に掲げて経営を行っております。

「事業グループの再設計と成長発展期待分野への積極的取り組みの促進」に向けた取り組みといたしましては、急速に普及するスマートフォンやタブレット端末のユーザーを獲得し、スマートフォン向けアプリ「スペシャアプリ」の会員拡大することをめざし、トップミュージシャンによるプレミアムライブ「SPACE SHOWER TV “LIVE with YOU”」や、当社主催の「SWEET LOVE SHOWER 2014」FORESTステージ、「スペースシャワー列伝」などのライブコンテンツ配信を実施いたしました。

「顧客や関連業界に対する存在感と期待感の拡大による優位なポジションの獲得」に向けた取り組みといたしましては、スペースシャワーTV開局25周年を記念した、当社主催の野外フェス「SWEET LOVE SHOWER 2014」の3日間開催や、「スペースシャワーTV」の人気レギュラー番組「SPACE SHOWER TV presents きゃりーぱみゅぱみゅの“なんだこれTV”」の、スカパーJ S A T(株)が運営する海外向け日本コンテンツ専門チャンネル「WAKUWAKU JAPAN」を通じた海外放送を開始いたしました。

「不採算事業の見直し再編による業績伸長と持続発展可能な基礎収益力構造の創出」につきましては、組織改編を含む事業構造の見直しを継続して図りつつ、コスト削減にも努めております。

この結果、売上高は5,937,451千円と前年同期比76,549千円増（同1.3%増）となりました。また、営業利益は182,190千円と前年同期比35,305千円増（同24.0%増）、経常利益は183,753千円と前年同期比34,160千円増（同22.8%増）、四半期純利益は102,646千円と前年同期比26,125千円増（同34.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①音楽事業

有料放送の番組視聴可能世帯数につきましては、「スペースシャワーTV」が812万7千世帯、「100%ヒッツ！スペースシャワーTVプラス」が253万4千世帯となりました。有料放送収入は、スカパー！標準画質放送が2014年5月にサービス終了したことにより前年同期比減少、開局25周年を迎える「スペースシャワーTV」記念番組制作により番組制作費が前年同期比増加したことなどにより、当第2四半期連結累計期間における放送関連の業績は前年同期を下回る結果となりました。音楽ソフト関連では、ブレイクの兆しを見せている「ゲスの極み乙女。」をはじめとした自社マネジメントアーティスト関連のイベント出演収入やグッズ販売収入が増加したものの、パッケージ販売収入やレーベル事業収入が前年同期比で減少したことにより、前年同期を下回る結果となりました。イベント関連では、当社主催の野外フェス「SWEET LOVE SHOWER 2014」を、スペースシャワーTV開局25周年を記念して3日間開催としたことに加え、観覧スペースの拡大を行ったことで、観客動員数を大幅に伸ばしたことにより、前年同期を大きく上回る結果となりました。この結果、売上高は5,193,261千円と前年同期比93,106千円増（同1.8%増）、経常利益（セグメント利益）は、156,576千円と前年同期比37,547千円増（同31.5%増）となりました。

## ②映像制作事業

当事業につきましては、当第2四半期連結累計期間は順調に推移したものの、一部の大型ミュージックビデオ制作について納品が先送りとなったことにより、売上高は744,190千円と前年同期比16,557千円減（同2.2%減）と前年同期を下回る結果となりました。しかしながら、前年同期比で利益率の高い作品が増加したことにより、経常利益（セグメント利益）は、41,736千円と前年同期比127千円増（同0.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に受取手形及び売掛金が358,015千円、流動資産その他が65,829千円、仕掛品が44,091千円増加し、一方で現金及び預金が164,771千円、流動資産繰延税金資産が40,083千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ237,175千円増加し、6,685,635千円となりました。

負債につきましては、主に買掛金が264,432千円、流動負債その他が85,198千円増加し、一方で賞与引当金が51,803千円、預り金が33,329千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ254,799千円増加し、2,967,399千円となりました。また、純資産は利益剰余金が17,624千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ17,624千円減少し、3,718,236千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、167,771千円の使用となり、資金の四半期末残高は、2,614,553千円となりました。これは、営業活動により44,185千円獲得した一方で、投資活動により68,162千円、財務活動により145,251千円使用したことによるものであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の獲得は、44,185千円(前年同期は245,836千円の使用)となりました。これは主に、仕入債務の増加により264,432千円、減価償却費の計上により49,450千円、無形固定資産償却費の計上により41,030千円、その他流動負債の増加により37,076千円獲得した一方で、売上債権の増加により354,111千円使用したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の使用は、68,162千円(前年同期は165,285千円の使用)となりました。これは主に、無形固定資産の取得により34,665千円、敷金及び保証金の差入により19,000千円、有形固定資産の取得により9,766千円使用したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の使用は、145,251千円(前年同期は133,962千円の使用)となりました。これは、配当金の支払により120,271千円、リース債務の返済により24,979千円使用したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通り推移しており、平成26年4月25日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,826,933	2,662,162
受取手形及び売掛金	1,598,050	1,956,066
商品及び製品	265,642	272,158
仕掛品	160,320	204,411
原材料及び貯蔵品	2,161	2,401
未収還付法人税等	8,470	—
繰延税金資産	124,537	84,453
その他	177,983	243,812
貸倒引当金	△52,972	△56,246
流動資産合計	5,111,128	5,369,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	523,617	523,617
機械装置及び運搬具	15,506	15,506
工具、器具及び備品	329,080	355,281
土地	72,455	72,455
リース資産	449,755	449,755
建設仮勘定	—	364
減価償却累計額及び減損損失累計額	△916,836	△966,286
有形固定資産合計	473,578	450,693
無形固定資産		
ソフトウェア	201,645	189,764
リース資産	1,312	300
ソフトウェア仮勘定	4,564	2,474
その他	16,249	18,128
無形固定資産合計	223,771	210,668
投資その他の資産		
投資有価証券	67,527	66,536
敷金及び保証金	317,325	333,682
繰延税金資産	208,285	207,430
その他	87,003	83,894
貸倒引当金	△40,159	△36,491
投資その他の資産合計	639,982	655,052
固定資産合計	1,337,332	1,316,414
資産合計	6,448,460	6,685,635

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,001,544	1,265,976
リース債務	42,312	34,577
未払金	183,109	177,104
未払法人税等	39,547	43,874
預り金	463,264	429,935
賞与引当金	128,211	76,408
役員賞与引当金	21,187	17,330
返品調整引当金	78,416	75,602
売上割戻引当金	334	1,548
その他	24,305	109,504
流動負債合計	1,982,234	2,231,864
固定負債		
リース債務	145,602	128,358
退職給付に係る負債	491,600	505,510
役員退職慰労引当金	86,371	94,725
その他	6,789	6,939
固定負債合計	730,364	735,534
負債合計	2,712,599	2,967,399
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,789,059	1,789,059
資本剰余金	846,059	846,059
利益剰余金	1,100,743	1,083,118
株主資本合計	3,735,861	3,718,236
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	—	—
少数株主持分	—	—
純資産合計	3,735,861	3,718,236
負債純資産合計	6,448,460	6,685,635

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,860,902	5,937,451
売上原価	4,503,199	4,493,680
売上総利益	1,357,703	1,443,771
返品調整引当金戻入額	—	2,813
返品調整引当金繰入額	8,628	—
差引売上総利益	1,349,075	1,446,585
販売費及び一般管理費	1,202,190	1,264,394
営業利益	146,884	182,190
営業外収益		
受取利息	251	202
受取配当金	89	40
受取賃貸料	870	870
業務受託手数料	—	37
諸預り金戻入益	3,038	1,647
その他	2,530	2,386
営業外収益合計	6,779	5,183
営業外費用		
支払利息	2,757	1,628
持分法による投資損失	958	991
その他	354	1,001
営業外費用合計	4,070	3,621
経常利益	149,593	183,753
特別利益		
投資有価証券売却益	156	—
特別利益合計	156	—
特別損失		
固定資産除却損	633	—
減損損失	—	2,487
投資有価証券評価損	546	—
特別損失合計	1,179	2,487
税金等調整前四半期純利益	148,569	181,265
法人税、住民税及び事業税	20,069	37,680
法人税等調整額	51,978	40,938
法人税等合計	72,048	78,618
少数株主損益調整前四半期純利益	76,520	102,646
少数株主利益	—	—
四半期純利益	76,520	102,646

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76,520	102,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	—
その他の包括利益合計	54	—
四半期包括利益	76,575	102,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,575	102,646
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	148,569	181,265
減価償却費	53,542	49,450
無形固定資産償却費	42,067	41,030
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,553	△393
減損損失	—	2,487
受取利息及び受取配当金	△341	△242
出資金償却	1,727	162
敷金及び保証金償却	1,996	2,618
差入保証金の増減額(△は増加)	△430	△128
支払利息	2,757	1,628
持分法による投資損益(△は益)	958	991
有形固定資産除売却損益(△は益)	633	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△156	—
投資有価証券評価損益(△は益)	546	—
長期前払費用償却額	1,209	468
売上債権の増減額(△は増加)	△388,193	△354,111
たな卸資産の増減額(△は増加)	△106,274	△50,847
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△149,488	△71,748
仕入債務の増減額(△は減少)	385,629	264,432
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,100	△51,803
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,411	△3,856
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△80,619	37,076
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,348	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	13,909
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△45,893	8,354
その他	91	△1,306
小計	△158,278	69,437
利息及び配当金の受取額	341	242
利息の支払額	△2,757	△1,628
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	4	8,470
法人税等の支払額	△85,145	△32,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	△245,836	44,185

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,500	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△16,950	△9,766
有形固定資産の売却による収入	1,164	—
無形固定資産の取得による支出	△109,752	△34,665
投資有価証券の取得による支出	△22,877	—
投資有価証券の売却による収入	2,720	—
出資金の払込による支出	—	△2,717
出資金の回収による収入	8,101	—
貸付金の回収による収入	821	834
敷金及び保証金の差入による支出	△25,395	△19,000
敷金及び保証金の回収による収入	382	153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,285	△68,162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△40,418	△24,979
配当金の支払額	△93,544	△120,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,962	△145,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41	1,456
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△545,126	△167,771
現金及び現金同等物の期首残高	3,070,824	2,782,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,525,698	2,614,553

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音楽事業	映像制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,100,154	760,748	5,860,902	—	5,860,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,516	6,516	△6,516	—
計	5,100,154	767,264	5,867,419	△6,516	5,860,902
セグメント利益	119,029	41,608	160,637	△11,044	149,593

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△11,044千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音楽事業	映像制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,193,261	744,190	5,937,451	—	5,937,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30,257	30,257	△30,257	—
計	5,193,261	774,448	5,967,709	△30,257	5,937,451
セグメント利益	156,576	41,736	198,312	△14,559	183,753

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△14,559千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。